

湖美来 通信



uture
rom
ukushima.

ふくしまから
はじめよう。

発行 / 猪苗代湖・
裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会
住所 / 福島市杉妻町2番16号
(事務局 福島県生活環境部 水・大気環境課)
TEL.024-521-7258 FAX024-521-7927
E-mail / kosuikyo@ht-net21.ne.jp
ホームページ / <http://www.ht-net21.ne.jp/~kosuikyo/>

「この人に聞く」
(裏磐梯エコツーリズム協会副会長 真野真理子さん) 2

郡山市立湖南小学校
「湖南エコクラブ」が快挙！ 3

猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会
平成 26 年度上半期活動報告 4

湖美来クラブ会員募集 5

ヒシ刈り取り船試験導入 / 寄付の御礼 / 編集後記 6

「次代に残そう紺碧の猪苗代湖、清らかな青い湖 裏磐梯」



「猪苗代湖クリーンアクション 2014」のようす
(平成 26 年4月 19 日 猪苗代湖・青浜)



「猪苗代湖クリーンアクション 2014」参加者の皆さん
(平成 26 年6月 14 日 猪苗代湖・舟津浜)



「親子で学ぶ猪苗代湖ものがたり」のようす
(平成 26 年7月 26 日 磐梯山の湧水見学)



湖面を走るヒシ刈り取り船
(平成 26 年8月4日 猪苗代湖)

この人に聞く

裏磐梯エコツーリズム協会副会長
真野 真理子 さん



裏磐梯の水環境を守るため、様々な活動に取り組んでいる裏磐梯エコツーリズム協会の真野副会長にお話をお聞きしました。

Q 裏磐梯エコツーリズム協会について教えてください。

A エコツーリズムとは、生物の多様性や自然環境への理解を深めながら観光や地域振興に取り組んでいくという考え方です。特に裏磐梯は、磐梯朝日国立公園の中にあり、都会からもそんなに遠くないので、北海道や沖縄に行かなくても、身近に自然との接し方を学ぶことができる入門国立公園の役割があると思います。エコツーリズムで裏磐梯を盛り上げていけたらと考えています。

Q これまで取り組まれた水環境保全活動について教えてください。

A 裏磐梯は湖沼群がたくさんあり水脈が豊富で、航空写真で見ると水に浮かんでいるように見えます。きれいな水を守るために「飲み残しゼロ」運動に取り組んでいます。味噌汁や缶ジュース、ビールの飲み残しを排水溝に流すと、浄化するためにたくさんのお水が必要になります。観光地なので難しい部分もありますが、少しずつでも意識を変えていければと思います。また、子ども達向けの「裏磐梯の水」についての講座

も開催しています。

Q ご出身はどちらですか？

A 九州で生まれて東京で育ちました。こちらにきてから36年になります。

Q 休日どのように過ごしますか？

A 犬と一緒に過ごすことが好きなので、時間を問わず散歩しています。同じ場所でも季節・時間によって印象が変わり、思わぬ良い景色に出会えることもあります。飛来の行きや帰りの白鳥の群れに遭遇するときは胸が熱くなります。

Q 裏磐梯で好きな場所はありますか？

A みんな好きですが、冬の雪景色が特にいいですね。雪に寝転がって見る景色はどこでも好きです。

Q 裏磐梯エコツーリズム協会での仕事をどうして印象に残っているのですか？

A 講座をやるときに、準備していて「これで大丈夫かな」と心配になり

ますが、たくさんの方に参加していただいたときには、「やって良かった！」とうれしくなります。

Q これから取り組んでみたいことなどがありませんでしたら教えてください。

A ウチダザリガニやオオハングンソウといった特定外来生物の調査と駆除がなかなかすすまないのですが、専門家の協力があれば心強いです。また、子ども達への環境学習用として、裏磐梯の水をテーマとしたお話を紙芝居にまとめたたいです。絵の上手な人など、色々な人と協力してつくってみたいと考えています。



郡山市立湖南小学校 「湖南エコクラブ」が 快挙！

全国フェスティバルに出場！

郡山市立湖南小学校の4年生
が取り組んでいる環境学習「湖南
エコクラブ」が「こどもエコクラブ全
国フェスティバル2014」の福
島県代表に選ばれました。全国
フェスティバルは平成26年3月23
日に東京で開催され、湖南小学
校も発表を行いました。

「湖南エコクラブ」では、23名の
児童が4つのグループに分かれて地域
の水環境の大切さについて学びまし
た。発表を控えた平成26年3月に湖
南小学校を訪問し、4学年(当時)の
子ども達から話を聞きました。

① 下水道フォーラムグループ

下水道フォーラムに参加して、生
き物クイズをやったりして、楽しく勉
強することができた。また、さかなク
ンの描いた絵(右下写真参照)をも



らうことができたのがとても印象的
だった(高橋伸太朗君)。

② 猪苗代湖周辺の水質調査グループ

湖心の水は青いので透明度は高く
ないと思ったが、9.5m先まで見えた
のでびっくりした(小山絢圭さん)。

③ 鬼沼とヨシの実験グループ

ヨシは枯れていないときは水の汚
れを吸収するが、枯れると逆に水を

汚してしまうことが印象に残った(関
陽杜君)。

④ 舟津川水質調査グループ

舟津川の水質調査を行ったら、き
れいな水にしか住めないカジカを見つ
けることができた(大山絢也君)。



全国フェスティバルで発表

各種表彰を受賞！

長年の「湖南エコクラブ」の取り組
みにより、平成26年度に環境大臣賞
(地域環境保全功労者表彰)、国土
交通省の水資源功績者表彰を受賞
するとともに、第21回コカコーラ環
境教育賞活動表彰部門の優秀賞に
も選ばれました。

湖南小学校の皆さん、おめでとう
ございます！

猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全フォーラムのお知らせ

猪苗代湖や裏磐梯湖沼の水環境に対する皆様の理解を
深めていただくため、フォーラムを開催します。

- 日時 平成26年11月27日(木) 13:00~15:20
※11月17日(月)までにお申し込みください。
- 場所 ホテルリステル猪苗代 天鏡の間
- 内容 滋賀県琵琶湖環境科学研究センターによる講演や水環境保全団体の取り組み事例発表など
- 申込 協議会事務局(県庁水・大気環境課) 電話024-521-7258

★来場者のなかから抽選で20名の方に流域の特産物をプレゼント！

平成26年度上半期活動報告

4/19

猪苗代湖クリーンアクション2014 (福島県と共催)



浜辺のヨシ屑を回収



外で食べる豚汁は最高!

猪苗代湖北岸にてボランティアによる清掃活動「猪苗代湖クリーンアクション」を実施しました。春になり雪がとけると、冬の間に流れていたごみやヨシ屑が姿を現します。そこで3班に分かれて、小黒川河口、白鳥浜、松橋浜、青浜の清掃を行い

ました。参加人数は302名、回収したごみは約5.5トンでした。清掃当日はまだ肌寒く、各班ともたくさんのごみに悪戦苦闘しながらも協力してごみを回収しました。清掃の後は、温かい豚汁で体を温めました。

6/14

猪苗代湖クリーンアクション2014 VOL2・in舟津浜



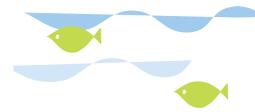
大勢の人に参加いただきました

舟津浜(郡山市湖南町)にて「猪苗代湖クリーンアクション2014」の第2弾を実施しました。猪苗代湖の東岸に位置する舟津浜は、西からの風の影響でヨシ屑などの漂着物が多く打ち上げられます。当日はヨシ屑を中心に約4.7トンのごみを回収しました。参加人数は、過去最高の約530名。職場や地域のグループ単位で参加された方がたくさんいらっしゃいました。



大鍋で豚汁完成!

清掃の後は、地元婦人団体「よつてがんしょっぱの会」の皆さんによる豚汁でほっと一息。



親子で猪苗代湖への理解を深めてもらうために学習会を開催し、14名が参加しました。

午前中は、猪苗代町体験交流館「学びいな」で猪苗代湖について勉強しました。「NPO法人こどもの森ネットワーク」の橋口直幸先生が講師となり、クイズや実験を交えながら分かりやすく説明してください



クイズで楽しく学習



天神浜で水質調査

いました。午後は、「猪苗代湖の自然を守る会」の鬼多見賢代表をガイドに迎え、昭和の森や天神浜を見学しました。当日は快晴で真夏日となりましたが、子ども達は暑さに負けず元気いっぱい参加しました。夏休みの自由研究に今回の学習会を活用した子どもさんも多かったようです。

みずみらい 「湖美来クラブ」会員募集中！

みずみらい
湖美来クラブでは、会員の方から頂いた会費をもとに、猪苗代湖・裏磐梯湖沼の水環境をきれいにするための水環境保全活動への支援など、様々な取り組みを行っています。

一緒に猪苗代湖・裏磐梯湖沼をきれいになりたいという方のご入会をお待ちしております。

ご入会希望の方は、ゆうちょ銀行又は郵便局窓口にて以下の口座に会費をお振り込みください(振込手数料が別途必要です)。事務局より会員証をお送りします。

□ 座：02250 - 1 - 98147

名 義：猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会

年会費：2,000円（個人） 10,000円（法人）

特 典：各種イベントのご案内、流域特産物の抽選プレゼントなど

お問い合わせは、県庁水・大気環境課までお願いします。▶電話024 - 521 - 7258



ヒシ刈り取り船を試験導入



ヒシ回収に奮闘！

福島県では猪苗代湖の水質保全対策として、北岸で繁殖する水生植物のヒシを効率的に刈り取るため、ヒシ刈り取り船の試験導入を実施しました。背景には、ヒシが増殖して、従来のボランテアによる手作業の回収では追いつかなくなっている現状があります。



独特の外観

ヒシ刈り取り船は全国的にも珍しい船で、岐阜県から運搬してきました。船の前についた刃でヒシを刈り取り、ベルトコンベヤーで船内に取り込みます。今回は試験導入のため1日のみの稼働でしたが、面積約2,000㎡、重さ約2.4トンのヒシを刈り取りました。

当日は見学のために40名程の関係者が集まりましたが、刈り取り船が一定のリズムで大量にヒシを刈り取っていく様子を皆さん興味深そうに眺めていました。



※一万元以上の寄付について掲載させていただきました。
他にも多くの方から寄付をいただいておりますことに御礼申し上げます。

イオンスーパーセンター(株)様 (岩手県盛岡市)

イオンリテール(株)様 (千葉県千葉市)

(株)大東銀行様 (福島県郡山市)

(株)ニチレイ様 (東京都中央区)

(株)福島中央テレビ様 (福島県郡山市)

中村 玄正様 (福島県郡山市)

(50音順)

湖美来基金に対してご寄付をいただきました。ありがとうございました。

寄付の御礼

編集後記

今回はヒシ刈り取り船の試験導入について掲載しました。かつてはまばらに繁茂していたヒシも今では猪苗代湖の北岸一体に拡がり、夏季になると広く見ることができるよう、放置すると腐敗して湖水が汚れる一因となります。しかしヒシの繁殖場所には、船が入れない箇所や希少種であるアサザの生育場所と接している箇所もあり、そうしたところでは人の手によりヒシ刈りを行う必要があります。

現在は、「猪苗代湖の自然を守る会」の皆さんが中心となり、ヒシ刈り作業を行っています。ヒシが成長する7〜9月の暑い時期に胴長を着用して湖水に入り、手で回収します。私も一緒にさせていただきました。機会がありましたが、湖面にびっしりと浮かぶヒシが印象的でした。

真夏のヒシ刈り作業は、普段は知らない猪苗代湖の一面を体験する貴重な機会でした。これからの若い人にも体験してもらいたい取り組みです。